



フレデリック・ワイズマンの世界①

FREDERICK WISEMAN

初公開『大学—At Berkeley』(2013)を含む、ワイズマン監督作品を特集!

2019年5.25[土]—31[金]

会場 | 名古屋シネマテーク

<http://jc3.jp/wiseman2018/>



フレデリック・ワイズマン Frederick Wiseman

1930年生まれ。イェール大学大学院卒業後、弁護士として活動を始め、やがて軍隊に入り、除隊後、弁護士業の傍ら大学で教鞭をとるようになる。63年にシャーリー・クラーク監督作品『クールワールド』をプロデュースしたことから映画界と関係ができ、67年、初の監督作となるドキュメンタリー『チチカット・フォーリーズ』を発表。マサチューセッツ州で公開禁止処分となるが、その後も社会的な組織の構造を見つめるドキュメンタリーを次々に制作する。71年に現在も拠点とする自己のプロダクション、ジボラフィルムを設立。以後、劇映画『セラフィータの日記』(82)『最後の手紙』(02)をはじめ、精力的にドキュメンタリーを作り続けている。2018年『ニューヨーク、ジャクソンハイットへようこそ』(2015)が公開され、今春には『ニューヨーク公共図書館 エクス・リプリス』(2017)が劇場公開される。最新作はヴェネチア国際映画祭 2018 特別招待『Monrovia, Indiana』(2018)。「現存の最も偉大なドキュメンタリー作家」と称される。

基礎訓練

Basic Training
1971/89min./ 白黒 / デジタル



ケンタッキー州フォートノックスの基地で行われる新兵を育成するための基礎訓練の様子を描く。行進や格闘、射的や銃の使い方や学ぶ教練、生活指導、イデオロギー教育やカウンセリング等々を通して、まだ子どもっぽさの抜けない若者が兵士に仕立て上げられていく。ベトナム戦争の最中に撮影された。

モデル

Model
1980/129min./ 白黒 / 16mm



ニューヨーク市でも最高のモデル事務所であるソリ・マネージメント社を舞台に、化粧品やデザイナーズ・ブランドのCMやファッション・ショー、広告などの仕事を営む男女のモデルたちを追っている。彼らを取り巻くエージェント、カメラマン、撮影スタッフやデザイナーなどの姿を通してファッション・ビジネス界のありさまが描かれる。

DV2 ドメスティック・バイオレンス2

Domestic Violence 2
2002/160min./ カラー / 16mm ※途中休憩あり



前作が被害者救援施設を舞台としたのに対し、本作ではDVが裁かれる法廷に舞台を移す。当事者同士の接触をさせないため、加害者はモニターに映し出されるだけの法廷。何組もの被害者と加害者が登場し、様々なDVの審理が進められる。延々と映し出されるいくつもの裁判。法廷審理から彼らの人生とドラマが浮かび上がる。

チチカット・フォーリーズ 高校

Titicut Follies
1967/84min./ 白黒 / デジタル



マサチューセッツ州ブリッジウォーターにある精神異常犯罪者のための州立刑務所マサチューセッツ矯正院の日常を究明に描いた作品。収容者が看守やソーシャル・ワーカー、心理学者たちなどどのように取り扱われているかが様々な側面から記録されている。合衆国裁判所で一般上映が禁止された唯一の作品であり、永年に渡る裁判の未、91年によりようやく上映許可された。

霊長類

Primate
1974/105min./ 白黒 / 16mm



霊長類に関する生物医学的、行動学的研究における先駆的な施設として知られるヤークス霊長類研究所で撮影。猿を使った様々な動物実験が、その研究の目的や意義は殆ど説明されないままに、次々と映し出される。虐待と見誤りかれない数々の実験の映像は、故意に研究所を扱めたかとする人々と、生体実験に反対する人々との間に激しい議論を巻き起こした。

動物園

Zoo
1993/130min./ カラー / 16mm



フロリダ州マイアミのメトロポリタン動物園の日常を記録している。世界中から訪れる入場者、飼育係による動物の世話、獣医の仕事から、表面には現れない、寄付を募るパーティーや広報活動、調査・研究活動まで、様々な活動を紹介しながら動物園が運営されるメカニズムに迫る。

大学 — At Berkeley

At Berkeley
2013/244min./ カラー / デジタル ※途中休憩あり



ワイズマンが“大学”を撮った作品。カリフォルニア大学バークレー校は、1868年に創設された州立カリフォルニア大学の発祥地であり、アメリカで最も古く権威のある総合大学である。世界有数の研究教育機関であり、学生運動の拠点にもなったリベラルな校風でも知られる。教育研究機関として知的・社会的使命を果たすための授業や研究活動、大学構内で行われる学生たちの様々な活動、スポーツイベントやコンサート。また、大学を維持・管理・経営していくための無数の会議や行政との折衝など、大学で行われるあらゆる活動を追っている。

High School
1968/75min./ 白黒 / 16mm



フィラデルフィア郊外にある“模範的な”高校の日常を追っている。朝のホームルーム、授業の風景、生活指導、父母を交えた進路相談、男女別に行われる性教育や家庭科の授業、クラブ活動……。高校を構成する教師、生徒、親、管理職たちの関わり合いの中で、イデオロギーや価値観が醸成され、伝えられていく。

肉

Meat
1976/113min./ 白黒 / 16mm



牛がトラックで牧場の外へと連れられ、巨大精肉工場で製品化され、市場に送り出されていくまでの全工程を記録する。「牛」が徹頭徹尾「肉」として扱われるこの場所で、細分化された各工程が一分の狂いもなく進行する過程を、的確な映像と編集のリズムによって映し出している。

DV ドメスティック・バイオレンス

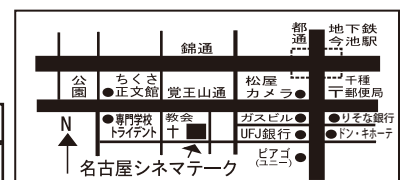
Domestic Violence
2001/196min./ カラー / 16mm ※途中休憩あり



フロリダ州タンパにあるDV被害者保護施設「スプリング」は年間1650人もの成人と子どもを受け入れている。経済的抑圧、精神的・肉体的虐待、性的虐待……。加害者は被害者を傷つけ、支配しようとする。なぜ家族がお互いを傷つけあうのか、なぜ犠牲者は傷つけられることを許してしまうのか。映画に映し出される現実をたびたび我々を驚かせ、この問題について我々が抱えているステレオタイプを覆していく。

【入場料】 (当日1作品券のみ)
一般 1500円 大学生 1400円
中学・高校生・会員 1200円 シニア 1100円
※同日に2作品ご覧になる一般・学生・会員の
方は、2作品目の料金から200円割引きます。

主催：名古屋シネマテーク
提供：一般社団法人コミュニティシネマセンター、
協力：山形国際ドキュメンタリー映画祭、アテネ・フランス文化センター
特別協力：ジボラフィルム



<http://cineaste.jp>

■劇場住所＝名古屋市千種区
今池1-6-13 今池スタービル2F

名古屋シネマテーク
地下鉄今池駅・UFJ銀行西180m tel.052-733-3959

5/25(土)	チチカット・フォーリーズ 15:10	肉 16:50
5/26(日)&5/31(金)	大学 — At Berkeley 15:10	
5/27(月)	DV 15:10	
5/28(火)	DV2 15:10	高校 18:05
5/29(水)	動物園 15:10	基礎訓練 17:40
5/30(木)	霊長類 15:10	モデル 17:10